

2019年度 自己評価（教職員編）の結果及び改善策

I 「保育の計画性」についての評価結果及び改善策

- ・園庭が新しくなり、今年度は駐車場前に畑を耕しじゃがいもを植えたが、季節ごとにかわって行く様子がよくわかり、ちいさな子どもたちが芋植えから芋掘りまでを大いに楽しめた。来年度も園庭での畑作りを計画し、子どもたちが作物を育てる楽しみを計画したい。
- ・日々の保育の計画に基づき、幼児のそれぞれの様子に合わせた保育ができるようにしたいと思います。
- ・月齢や季節にあわせ臨機応変に保育計画を変更しつつ保育するようにしている。異年齢クラスとの連携もとれていると思う。
- ・カトリック幼稚園としての理解を深めたい。
- ・個々の発達段階を捉え、次のステップに進めるよう、個別性を意識して計画を立てている。
- ・幼児は日によって、環境によって様子が違うため子どもに合わせた活動内容にすることが多い。そのためにも子どもの様子、予測される場面を重要視し、ゆとりや柔軟性のある計画を心がけている。
- ・担任保育士の指導案に基づいて動いていくようにしています。
- ・異年齢クラスや食育クラスでは、年間を通して課題を持って取り組んでいる。

II 「保育の有り方、幼児への対応」についての評価結果及び改善策

- ・補助の立場として担任の先生の対応を見ながら、お子さん達が楽しく過ごせる事を一番に考え、環境整備などさせて頂いています。何が必要かを咄嗟に判断して、担任の先生のサポートが出来れば...と思っています。
- ・今年度も安心、安全の中でのびのびと子どもらしい毎日を過ごせるように心がけてきた。また、ひとりひとりの幼児の発達の姿や課題は保育会議や保育者間で自由に意見交換ができる環境作りを心がけていきたい。
- ・支援の必要な子が、どうしたらみんなと一緒に楽しめるかを1番に思い関わるように、また他の子も〇〇ちゃんと一緒に楽しいと感じられるように、今後も配慮して行きたい。
- ・幼児の毎日の成長、変化を良く見たり、気持ちを聞いたりして保育をしたいと思っています。
- ・幼児の気持ちを受け止めくみ取りながら対応している。名前の呼び捨てや親しみからの言動に不適切がないか常に気を付けている。
- ・一人ひとりを見守り、子供たちの目線に立ち子供たちの気持ちに寄り添えるよう心がける。
- ・0歳児は初めての母子分離であり、母子ともに不安が大きいため、少しでも不安なく過ごせるように愛情を持って関わっている。言葉で伝えることが出来ないのを、求めていることを推測し、気持ちに寄り添うことを大事にしている。
- ・安全面に気をつけ、安心して過ごす事が出来るように保育をすすめている。また、子どものありのままの姿を受け止め理解し、興味、関心を引き出すように意識したい。
- ・子どもの個人の発達を捉え、接するようにしています。
- ・クラス担任の補助を受けながら、その場にあった対応をするように気を付けている。

III 「保育者としての資質と能力」についての評価結果及び改善策

- ・自分の思いのみで進む事なく、他の先生の意見や新しい発想や関わりを取り入れ、子どもたちの成長を促すようにしていきたい。
- ・幼児が安心して楽しく過ごせる保育ができるように心がけたいと思います。
- ・先輩、同僚の意見を聞きつつ日々研究、レベルアップに努める。
- ・子供たちと関わることに大きな喜びを感じています。

- ・保育士や幼稚園教諭の資格はないが、先輩保育者を見習いながら、園児が健やかに心地良く過ごせるよう努め、日々振り返りをしている。また看護師として、健康面や衛生管理に気を付けて、園児も職員も健康で過ごせるように努めている。常に怪我や事故が起きないか、細心の注意を払っている。
- ・低年齢になるにつれて、安心してもらえる母親的な存在になることが保育者の務めだと思う。これからも日々努力したい。
- ・日々の保育を振り返り反省に努めるようにしています。
- ・子どもに対しては常に誠実な対応をすることが保育者として必要なことだと思います。能力は他人の評価によるもの？

IV 「保護者への対応」についての評価結果及び改善策

- ・帰宅時間に保護者の皆さんとお会いする事が多いです。温かみのある幼稚園ですので、その印象を壊さないように、笑顔でのご挨拶を心掛けています。
- ・保護者からの相談や要望には、丁寧に話を聞かせていただくように心がけている。また、園長や他の職員に報告し、共有している。今後も、風通しの良い環境作りに努めていきたい。
- ・担任の先生との意思疎通をしっかりと、保護者が迷う事なく、安心して幼稚園に通わせられるように、引き続きして行きたい。
- ・聞かれたことなどに丁寧に答えたいと思います。
- ・日常の幼児の様子をはなしつつコミュニケーションを大事にしていきたい。
- ・明るく挨拶をするように心がけています。
- ・安心して預けられると信頼していただけるよう、園児には愛情を持って接し、園児の成長を我が事のように喜びながら過ごしている。
- ・常に丁寧な対応に心掛けている。また、話の仕方に気を使っている。
- ・丁寧な対応を心掛け、正確な情報を伝えるように気を付けています。
- ・子どもの様子や心配なことは、バスの添乗の時などに伝えるようにしている。

V 「地域の自然や社会とのかかわり」についての評価結果及び改善策

- ・小さなクラスでの散歩の際、道で会った地域の人にこんにちわと挨拶を交わしている職員の姿は、実に気持ちが良い。いろいろな人がいるので注意も必要ではあるが、今後も地域の方々に愛される幼稚園でありたいと思う。
- ・散歩の時など、毎日の生活の中で周りの様子に目が向くような言葉がけなど今後も続いて行きたい。
- ・地域で行われている幼児対象の行事や、子育てに関する情報などを知るように心がけたいと思います。
- ・身近な自然に目を向け幼児に伝えられるようこころがけたい。
- ・幼稚園バスを利用して自然を楽しめる公園に行く機会を増やしたい。
- ・屋外での活動では、園児に草花の名前や天気について語りかけ、積極的にすれ違う人々に挨拶するよう心がけている。小さな子どもといる時に挨拶をすると、される側の人も笑顔になることが多く、中には他人と接する機会の少ない人もいるかもしれないので、そういう人にとって一瞬でも他者との交流の機会になって、子どもから希望を感じてもらえたら、と思う。
- ・自然との触れ合いは心と体の成長に大きく作用する。機会を増やし、のびのびと体を動かしたいと思う。
- ・あまり意識はしていませんが、食育クラスでは特に、季節を意識しての取り組みや地域のスーパーへの買い物を通して関わりを持つことを心掛けています。
- ・森のようちえんに行くことで季節の移り変わりなど自然に触れることが出来るが、もう少し回数が増やせるとより身近に感じられるのではと思います。

VI 「研修と研究」についての評価結果及び改善策

- ・虐待防止についての研修会に参加。虐待チェックシートの使い方を保育会議の中で他の職員に伝えたが、今後は研修、研究したことを 30 分くらいの園内研修の機会をもって発表できるような機会を計画していけるように努める。
- ・園外研修は時間的には難しいが、園内研修や、自己研究は本を読んだり、他の先生の話しを聞いたり、出来ることから少しずつ行なって行きたいと思う。
- ・研修に参加できる機会があれば、参加したいと思います。
- ・小さな疑問をうやむやにせず研究していきたい。
- ・保育補助職として理解を深めるための研修を受けたい。
- ・今年度は赤十字の幼児の安全講習に参加し、心肺蘇生法や緊急時の対応について学んだ。機会があれば来年度も研修等に参加したい。
- ・研修会に参加することで見方が変わり、日々の保育に役立つことがあり感謝している。今後も機会を見つけ積極的に参加したい。
- ・研修会などには参加する機会はありませんでしたが、食育や異年齢クラスをすすめるにあたり自己研究をしています。
- ・今年度は障害児研修や虐待の研修に参加しましたが、研修に参加することにより日頃感じていなかった部分に敏感になったりし、とても参考になり刺激をもらうことができた。しかし、そこから研究までは至っていない。